

手術支援ロボット

ダヴィンチ

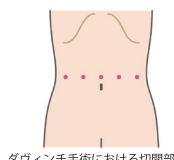
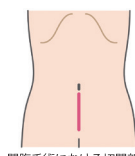
を導入しました



ロボット支援手術の特徴

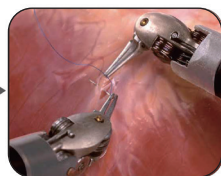
1. 体への負担が 少ない

傷口が小さい
術中の出血が少ない
術後の疼痛が少なく、回復が早い
術後合併症のリスクが低い



2. 鮮明な 3D(3次元)画像

コンソールモニターには高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの画像が映し出されます。



3. 精密な動きを再現

医師がロボットアームに装着されている鉗子やメスを操作します。ダヴィンチの鉗子はリスト構造を持ち、人間の手より大きな可動域と手ぶれ補正機能を備えています。



ダヴィンチとは

ダヴィンチは従来の腹腔鏡手術と同じようにいくつかの小さな切開部を作り、医師の操作に従って内視鏡・メス・鉗子を動かして手術を行う内視鏡手術支援ロボットです。ダヴィンチは、低侵襲技術を用いて複雑な手術を可能とするために開発されました。

た。高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像の下、人間の手の動きを正確に再現する装置です。医師は鮮明な画像を見ながら、人の手首よりはるかに大きく曲がって回転する手首を備えた器具(鉗子)を使用し、精緻な手術を行うことができます。

当院では令和6年6月から前立腺がん・大腸がんの手術において運用を開始していく予定です。
ダヴィンチで手術をお考えの方は、まずはかかりつけ医、主治医にご相談ください。